

Conference Report

学界情報 国際会議レポート

IEEE Energy Conversion Congress and Exposition (ECCE2010)

September 12 - 16, 2010, Atlanta, USA

会議の概要

2010年9月12日から16日までの5日間、米国ジョージア州アトランタ市 Hilton Atlanta Hotel において ECCE2010 (IEEE Energy Conversion Congress and Exposition) が開催された。アトランタ市は、コカ・コーラ、デルタ航空、CNN など日本でも有名な企業が本社を置くアメリカ合衆国南部の商業・経済の中心地である。大会期間中は晴天が続き、日中は最高気温が 30°C 近くまで上がったが湿度が低いめかうだるような暑さは感じられなかった。ECCE は、PESC (IEEE Power Electronics Specialists Conference) と IAS (IEEE Industry Applications Society) の Industrial Power conversion Systems 領域 (Electric Machines Committee, Industrial Drives Committee, Industrial Power Converter Committee, Power Electronic Devices and Components Committee) に関する技術プログラムが合同で開催された新しい国際会議であり、今回は第二回目の開催となる。その論文発表件数も非常に多く、投稿された 1262 件の論文の中から 666 件が採択され (採択率 53%)、そのうち 539 件が Oral Session, 126 件が Poster Session において発表された。

会議の印象

12日(学会初日)に8件のチュートリアルが、14日の朝にプレナリー講演が2件行われた。チュートリアル、プレナリー講演のどちらにおいても PV や Wind Energy System 等の再生可能エネルギーに関する講演が行われておりエネルギー問題に対して高い関心がある事を感じた。技術セッション (Oral Session) に目を向けてみると去年開催された ECCE2009 では見られなかった plug-inHEV/EV への給電設備や非接触による給電方式に関して新たに2セッションが追加されるなど plug-inHEV/EV を普及段階へ移行するための技術についての発表が多く行われていた。給電設備に関しては各国の規格が統一されていない段階でもあり海外の研究者が行っている給電技術に関する発表は非常に興味深かった。Poster Session については全 126 件が2回のセッションに分けられ活発な議論がなされていた。筆者が研究内容の説明を受けたポスターの付近では、ほとんどの発表者が複数の聴講者を相手に質疑応答をしており盛況な印象を受けた。また今回筆者は発表者として学会に参加した。発表日の朝7時から Author's Breakfast が行われ、各セッションの発表者および座長が同じテーブルに着席し朝食を取りながら発表時の注意事項等の説明を聞く。国際学会では各発表の始まりに座長から発表者の紹介をして頂くのが通例だが今回は Author's Breakfast 中に紙を渡されその場で自己紹介文を書いた。朝食中は座長が発表者全員に気を配つ

てくれ、筆者には「緊張しているようだが大丈夫か」と声をかけてくれた。緊張というよりは会話の半分が聞き取れず困っていたのだが、なんとか知っている英語でコミュニケーションをとる事ができ有意義な時間であった。違った環境で研究をされている方々とじっくり話しをする絶好の機会でもあるので、次回までにはもう少し自分の思いうまく伝えられるように英会話を勉強したいと強く感じた時間であった。講演時間は質疑を含めて25分が与えられるため質疑応答にも十分な時間を取ることができると感じた。三日目の夜にはバンケットが行われた。学会参加者のご家族も参加する事ができる非常ににぎやかな会食である。バンケットでは毎回趣向を凝らしたショーが開催され参加者を楽しませてくれる。今回は非常にきれいなゴスペルの歌声と学会コミッティによる生演奏が行われた。図1は学会コミッティによる生演奏の様子である。ECCE2010のGeneral ChairをされているTom Habetler氏自らがギターを手にして演奏をされ会場を盛り上げていた。

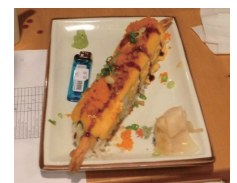
次回 ECCE は、米国アリゾナ州フェニックスで2011年9月17日から22日の日程で開催される。Digestの締め切りは、2011年1月15日である。



図1. バンケットの様子

最後に

海外学会において毎回楽しみにしている事の一つに現地の食事がある。今回は日本の大学の先生方と一緒にさせて頂き「SUSHI」を食べに行った。右の図は「SUMO ROLL」である。海老が丸ごと酢飯と甘いソースにこれでもかと言うくらい包まれた逸品であった。次回はどんな食べ物に出会えるか今から楽しみである。



橋野 哲 (本田技術研究所)

(平成22年9月30日受付)